

看護・検査の場合 S=良い(安心して任せられる); A=普通(一人で安全に出来る)
B=努力を要する(助言を受けてできる); C=未体験

番号	カテゴリー	大項目	小項目	学習 進め のめ やす	達成基準	評価				学習方略	
						C	B	A	S		
17	一般検査 室検査	検尿	検尿	3	目的・必要物品・準備・ 注意事項が言える						
			検便(手)	3							
			尿比重(手)	3							
			テストテープ(小)	3							
18	採血法	静脈採血(小)(未)	動脈血採血の介助(手)(母)	3	正常値・目的・必要物 品・準備・注意事項が 言える						
			グルテストセンサー(手)	3							
19	細菌学的 検査(手)	一般的注意	痰培養(母)	3	目的・必要物品・方法・ 注意事項が言える						
			便培養	3							
			尿培養	3							
			血液培養(動脈血・静脈血)(分)(母)	6							
20	X線による 検査 (手)	単純撮影	断層撮影	3	目的・必要物品・準備・ 帰室後・注意事項が言 える						
			コンピューター断層撮影(CTスキャン)								
			胃・十二指腸透視・造影・追跡(分)(母)	6							
21	MRI (手)	MRI(磁気共鳴映像法)	MRA(分)(母)(未)	3							
22	核医学検 査(手)	シンチグラフィ(分)(母)(未)		6							
23	生理学的 機能検査	心電図(ECG)		3	目的・必要物品・準備・ 帰室後・注意事項が言 える					G/I	
			病室で看護師が 心電図(12誘導) を取る(未)	3		目的・必要物品・方法・ 注意事項が言える					
			ホルター心電図(手)(未)	6		目的・必要物品・準備・ 帰室後・注意事項が言 える					
			負荷心電図(手)(分)(母)(未)	終							
			超音波診断法(手) 腹部エコー	3							
			超音波心臓図(UCG)(手)	3							
			肺機能検査(手)(分)(母)(未)	3							
脳波(EEG)(手)(分)(母)	6										
24	内視鏡検 査 (手)(分) (母)(未)	気管支ファイバースコー 食道ファイバースコー 胃・十二指腸ファイバースコー 大腸ファイバースコー		終	目的・必要物品・準備・ 帰室後・注意事項が言 える						
25	病理組織 検査 (手)(分) (母)(小) (未)	胃生検 肝生検 腎生検 肺生検	経気管支的肺生 検(TBLB)						I		
26	透析 (手)(分) (母)(小) (未)	血液透析	透析前後の看護 (入院透析の場 合)	6	必要物品・透析前・透 析後・注意事項が言え る					H	

番号	カテゴリー	大項目	小項目	学習 進度 のめ やす	達成基準	評価				学習方略
						C	B	A	S	
26	透析 (手)(分) (母)(小) (未)	血液透析	シャントの看護	6	必要物品・透析前・透析後・注意事項が言える					H
27	輸血	血液の種類		6						D/輸血ニュース/ビデオ「輸血」
		予約(手)		6	目的・必要物品・伝票の扱い・提出方法・注意事項が言える必要物品と提出方法が言える。					
		クロスマッチ(交差試験)		6	方法について言える					
		保存方法(保管方法)		6	方法について言える					
		輸血		6	目的・必要物品・方法・注意事項が言え、マニュアルに沿って安全に実施できる					
		血液製剤の返納		6	方法について言える					
28	穿刺 (手)(分) (母)	胸腔穿刺(未)		終	目的・方法・注意事項が言える					I
		腹腔穿刺(未)								
		腰椎穿刺								
		骨髄穿刺(未)								
29	患者監視 装置	経皮的酸素モニター		3	目的・必要物品・方法・注意事項が言える基準に沿って適切に使用できる					
		心電図モニター								
		呼吸モニター								
30	肺理学療法 (手)(分) (母)	体位排痰法		6	目的・方法・注意事項が言える					I/ビデオ「呼吸理学療法」
		スクイーミング								

管理の場合 S=お手本になる；A=普通（自分で調べてできる。または方法を知っている。）
B=助言を受けてできる

番号	カテゴリー	大項目	小項目	学習 進度の めやす	達成基準	評価			学習方略
						B	A	S	
3 1	理念	病院の基本理念		3	言葉に誤りなく言うことが出来る				S/M/K
		赤十字の基本原則		3	7項目が出来る。4つ以上意味が出来る。				
		看護部の理念		3	言葉に誤りなく言うことが出来る				
		看護部の方針							
		看護部の目的							
		今年度の看護部の目標							
3 2	看護職員の 責務	看護師の倫理規定		3	3つ以上言える				S/G/E/K
		看護部職員の業務指針		3	内容について説明出来る				
		白衣の管理方法		3	白衣のクリーニングの 手続き、取り扱い時間 について説明出来る				
		看護部の教育	教育の目標	3	言葉に誤りなく言うことが出来る				
			教育方針						
			院内教育の構成	3	内容について説明出来る				
		プライマリーナース ングシステムについて		3					
		個人研修ファイル		3	目的・管理方法について 言え、記録している				
		院外研究発表に関する 手順		3	必要書類・手続き方法 が言える				
		看護研究助成金制度							
		院内研修受講届							
看護研修室の使用									
看護基準のレンタル ビデオ教材のレンタル									
3 3	就業規則 に関する 諸手続き	出勤簿		3	方法が言え実施してい る			S/G/J	
		休暇願							
		準夜・深夜勤及び当直等報告書							
		住所変更届							
		通勤費変更届							
出張申請書		3	報告の必要性と相手・ 方法が言え実施できる						
3 4	職員の健 康管理	外来受診		3	予約月と予約方法が言 える			S/G	
		職員検診	定期健康診断	3					
			感染症健康診断	3					
		針刺し時の対応		3					
体調不良時の報告									
3 5	報告	病棟看護師長		3	報告の必要性と相手が 言える				
		日直看護師長							
		夜勤看護師長							
3 6	病棟業務	病棟管理目標		3	半分以上言える			G/M	
		病棟の係		3	病棟のすべての係を言 える。また、その中の 自己の係りでの役割を 言える				

番号	カテゴリー	大項目	小項目	学習 進め やす	達成基準	評価			学習方略
						B	A	S	
36	病棟業務	勤務体制		3	日勤、夜勤でのメンバーの役割が言える各勤務帯の業務と業務分担について説明できる				G/M
		業務内容		終					
37	設備・備品の取り扱い	ナースコール, ハンディナースコール (手) (未)		3	使用方法が言え実施できる				
		エアシューター							
		ボックスコンベアー (手)							
		電話		3	外線の掛け方、回し方フッキングの方法 (実施・解除が出来る) ができる				
		PHS (手) (未)		3	使用方法が言え実施できる				
FAX									
38	緊急時の管理	救急カート		終	目的・収納方法・収納物品・収納薬品が言え収納場所を把握している				H/G/Q/R
		コードQQ		終	内容を理解し実施できる				
39	管理システム 安全対策	オーダーリングシステム		6	規則に則った使用ができる				O/K
		処方オーダー (手)							
		注射オーダー (手) (分) (未) (小)							
		検査オーダー (手)		6	規則に則った使用ができる				
		個人情報							
看護支援システム		病棟管理日誌 (手)		6	規則に則った使用ができる			O/K	
		ワークシート (手)							
		注射指示書 (手)		6	規則に則った使用ができる			O/K	
		※分娩室、新生児・未熟児室、小児科等注射オーダーリングを導入していないところは注射伝票として考える							
		事故報告システム		3	目的と方法が言え実施できる				S/事故防止対策マニュアル/MRMニュース
40	感染対策	スタンダードプリコーション		3	説明できる				I/N/不潔リネンの取り扱いについて
		汚染、感染リネンの取り扱い		3	目的と方法が言え実施できる				
		機器・器具中央化システム							
		清掃 (感染患者、易感染患者) の依頼							
41	廃棄物処理	ゴミの分別		3					T/N
		RI後の取り扱い (手) (母)		6					
42	病院防災体制	防災設備		3	消火器・防火扉。非常警報盤の場所が言える				P/R/Q
		避難経路		3	第1避難場所、第2避難場所が言える				
		役割分担		3	日勤、夜勤でのメンバーの役割が言える				
		非常持ち出し物品		3	保管場所と品目を述べる事が出来る				
		緊急連絡網		3	役割を実施できる				
		コードAA							

番号	カテゴリー	大項目	小項目	学習 進 め の め やす	達成基準	評価			学習方略	
						B	A	S		
43	取り扱い 手続き	入院時 (手)	入院患者名簿	6	保管場所と目的と記入 方法が分かり取り扱 い ができる				G/入院快適 ノート	
			入院療養計画書							
			入院病歴							
		退院時 (手)	退院患者名簿	6						
			退院療養計画書							
			退院処方 の 取 り 扱 い							
		死亡退院時 (手)	6	方法と必要書類・手続 きが言える						
		転院時 (手)								
		転入時 (手)								
		転出時 (手)								
		転科時 (手)								
		各科受診時 (手)								
		ICU入退室時 (手)								
		透析室の入退室時 (手) (母) (未)	3	規則と必要書類・手続 き・患者への渡し方 が 言 え る						
外出, 外泊時 (手) (未)										
家族付き添い時 (手) (未)	終	付き添いの申し出があ ったときの対応を知っ て い る								
薬品の請求, 返納 (手)	定時薬品	6	方法が言え請求する事 が 出 来 る				G			
	臨時薬品									
	個人内服薬, 注射 薬									
医療消耗品, 物品の請求	一般消耗品 (手)	6					S P D ニュース/ G/S/K			
	S P D									
各種伝票取り扱い	処置伝票 (手)	3					G			
	酸素伝票 (手)									
	病棟特殊伝票 (手)									
	その他の会計伝 票									
病歴の貸し出し (手)	終									
清掃の依頼	3	病棟と外来の担当者を 知っており、臨時の清 掃依頼の方法を知って い る								
44	関連各科 の場所と 連携	外来部門		内科 1	6	患者様に、各病棟及び 健康棟の場所と診療科 が 言 え る				入院快適ノ ート/入院案 内/ 外来の案内/ 病棟配布案 内図/K
				内科 2						
				神経内科						
			外科							
			脳外科							
			整形外科							
			婦人科							
			産科							
			眼科							
			小児科							
			耳鼻咽喉科							
			皮膚科							
			泌尿器科							
			麻酔科							
小児保健部										
中央採血室										

番号	カテゴリー	大項目	小項目	学習 進め のめ やす	達成基準	評価			学習方略
						B	A	S	
44	関連各科 の場所と 連携	外来部門	総合医療相談室	6	患者様に、各病棟及び 健康棟の場所と診療科 が言える				入院快適ノ ート/入院案 内/ 外来の案内/ 病棟配布案 内図/K
			健康管理センター						
			透析室						
			リハビリテーション科部						
			放射線科						
			放射線治療棟						
			循環器 X 線検査室						
			中央検査部（心電図、脳波、肺 機能、超音波）						
			内視鏡室						
			母親学級教室						
			栄養相談室						
			病棟及び健康 棟			1 1 階	6		
		1 0 階東							
		1 0 階西							
		9 階東							
		9 階西							
		8 階東							
		8 階西							
		7 階東							
		7 階西							
		6 階東							
		6 階西							
		5 階東							
		5 階西							
		4 階東							
		4 階西							
		1 0 7 棟							
		1 0 6 棟							
		1 0 5 棟							
		中央手術室							
		I C U							
		新生児・未熟児センター							
		M F I C U							
		分娩室							
		総務課	6						
		初診受付							
		共済会							
		入院業務課							
		医療社会事業部							
		社会課							
		企画課	6						
		経理部会計課							
		施設課							
外来業務課									
入院業務課									
会計									
入院案内	6								
美容室・理容室									
売店『カトレア』									
レストラン『ブラジル』									
レストラン『けやき』									

番号	カテゴリー	大項目	小項目	学習 進度 のめ やす	達成基準	評価			学習方略
						B	A	S	
4 4	関連各科 の場所と 連携	書店		6	患者様に、各病棟及び 健康棟の場所と診療科 が言える				入院快適ノ ート/入院案 内/ 外来の案内/ 病棟配布案 内図/K
		キャッシュコーナー							
		郵便ポスト							
		輸血部							
		自己血採血室							
		受診相談							
		総合案内							
		ボランティアルーム							
		中央器材室		6	場所が言え、物品・食 事・薬品を必要時取り にいくことができる				
		サプライ							
		栄養課							
		薬剤部							

看護・検査の場合 S=良い(安心して任せられる); A=普通(一人で安全に出来る)
B=努力を要する(助言を受けてできる); C=未体験

番号	カテゴリー	大項目	小項目	学習 進め のめ やす	達成基準	評価				学習方略		
						C	B	A	S			
1	バイタルの測定	意識レベルの見方		3	目的・必要物品・方法・注意事項が言え、実施できる 異常の兆候が言える 正常値が言える					G		
		麻痺の見方										
		瞳孔所見の見方										
		CVP測定										
2	排泄の援助	身体測定 体重		3	安全に使用できる 目的・必要物品・方法・注意事項が言え、安全に実施できる					G		
		洗腸										
		ガス排気										
		特殊トイレ使用の介助										
3	ドレージ管理	脳室・脳槽ドレージ	シラスコン脳室ドレージ	設定・管理	6	目的・必要物品・準備・方法・注意事項が言え、基準にそって安全に実施・管理できる					G	
			脳槽還流	搬送方法 準備								
		皮下・硬膜外・硬膜下ドレージ (ハコドレージ)	設定・管理	最終								
			還流表の記載	最終								
		ルンバルドレージ	挿入の介助	6								
			挿入中の管理・設定 挿入中の搬送									
4	術前・術後の看護	開頭術	血腫除去術	術前の準備	6	目的・必要物品・準備・方法・注意事項が言え、基準にそって安全に実施・管理できる					G	
			腫瘍摘出術	術後の観察・管理								
		V-Pシャント造設術	術前の準備									
			術後の観察・管理									
		穿頭ドレージ (慢性硬膜下血腫)	術前の準備									
			術後の観察・管理									
		経蝶形骨洞的腫瘍摘出術	術前の準備	最終								
		開頭クリソク術 (脳動脈瘤)	術後の観察・管理	最終			正常と異常の判断がつけられる					
術前の準備	最終											
頭蓋形成術	術後の観察・管理	最終										
5	治療	放射線療法		治療中の観察・指導	6	目的・方法・注意事項が言え、副作用を予測した看護ができる					G	
		化学療法		副作用を予測した看護								
		投与中の看護		6			目的・方法・注意事項が言え、適切に実施できる。また副作用を予測した看護ができる					
		抗癌剤の取り扱い		6								
副作用を予測した看護		6										
6	処置	気管内挿管		気管内挿管の介助	最終	目的・適応・必要物品・準備・方法が言え、安全に確実に管理できる					H/G	
		気管内挿管中の管理		6								
		気管切開		気管切開の介助			最終					
		気管切開中の管理		3								
カニューレ交換介助		最終										

番号	カテゴリー	大項目	小項目	学習 進度 のめ やす	達成基準	評価				学習方略
						C	B	A	S	
7	人工呼吸	レスピレーター	取り寄せ方	6	目的・適応・方法が言え、安全に管理できる					H/G
			設定準備・管理							
			フィルター・回路交換							
			記録用紙記入							
		JCR	使用方法	3	目的・適応・方法が言え、安全に実施できる					
8	その他	特殊浴槽取り扱い			目的・適応・方法が言え、安全に実施できる					G

7階東 専門領域チェックリスト (レベルI)

検査

看護・検査の場合	S=良い (安心して任せられる) ; A=普通 (一人で安全に出来る) B=努力を要する (助言を受けてできる) ; C=未体験
----------	---

番号	カテゴリー	大項目	小項目	学習 進度 のめ やす	達成基準	評価				学習方略
						C	B	A	S	
1	X線による検査	脳血管撮影	検査前の看護・準備	3	目的・必要物品・準備・ 方法・注意事項が言え、 基準に沿って安全に実 施・管理できる					G/I
			検査後の看護							
			クリティカルパス							
		V-Pシント造影	終							
		脳槽シンチ		終						
2	内視鏡による検査	経食道心エコー		終						

技術チェックリスト 記入例

看護・検査の場合 S=良い(安心して任せられる); A=普通(一人で安全に出来る)
B=努力を要する(助言を受けてできる); C=未体験

番号	カテゴリー	大項目	小項目	学習のめやす	達成基準	評価				学習方略
						C	B	A	S	
17	一般検査 室検査	検尿	検便 <small>手)</small>		目的・必要物品・準備・ 注意事項が言える			A	S	
			尿比重 <small>手)</small>					A	S	
			テステープ <small>小)</small>					A	S	
						C			S	
18	採血法	静脈採血 <small>小)</small> <small>未)</small>	動脈血採血の介助 <small>手)</small> <small>未)</small>		正常値・目的・必要物 品・準備・注意事項が 言える			A	S	
			グルテストセンサー <small>手)</small>			C				
								A		
19	細菌学的 検査 <small>手)</small>	一般的注意	痰培養 <small>手)</small>		目的・必要物品・方法・ 注意事項が言える	C		A		
			便培養				B	A		
			尿培養			C		A		
			血液培養(動脈血・静脈血) <small>分)</small> <small>未)</small>			C		A		
						C		A		
20	X線によ る検査 <small>手)</small>	単純撮影	断層撮影		目的・必要物品・準備・ 帰宅後・注意事項が言 える	C		A		
			コンピュータ断層撮影(CTスキャン)			C		A		
			胃・十二指腸透視・造影・追跡 <small>分)</small> <small>未)</small>			C		A		
						C		A		
21	MRI <small>手)</small>	MRI(磁気共鳴映像法)					B		S	
	MRA <small>分)</small> <small>未)</small> <small>未)</small>					B		S		
22	核医学検 査 <small>手)</small>	シンチグラフィ <small>分)</small> <small>未)</small> <small>未)</small>				C	B	A		
23	生理学的 機能検査	心電図(ECG)		病室で看護婦が 心電図(12誘導) を取る <small>未)</small>	目的・必要物品・準備・ 帰宅後・注意事項が言 える		B		S	G/I
						C	B	A		
		ホルター心電図 <small>手)</small> <small>未)</small>			A	S				
		負荷心電図 <small>手)</small> <small>分)</small> <small>未)</small> <small>未)</small>		C		A				
		超音波診断法 <small>手)</small>	腹部エコー		B		S			
		超音波心臓図(UCG) <small>手)</small>		C			S			
		肺機能検査 <small>手)</small> <small>分)</small> <small>未)</small> <small>未)</small>		C		A				
脳波(EEG) <small>手)</small> <small>分)</small> <small>未)</small>			B	A						
24	内視鏡検 査 <small>手)</small> <small>分)</small> <small>未)</small>	気管支ファイバースコープ	食道ファイバースコープ		目的・必要物品・準備・ 帰宅後・注意事項が言 える	C		A		
			胃・十二指腸ファイバースコープ			C		A		
			大腸ファイバースコープ			C		A		
						C		A		
25	病理組織 検査 <small>手)</small> <small>分)</small> <small>未)</small> <small>未)</small>	胃生検	肝生検		目的・必要物品・準備・ 帰宅後・注意事項が言 える	C		A		
			腎生検			C		A		
			肺生検			C	B	A		
			経気管支的肺生 検(TBLB)			未				
26	透析 <small>手)</small> <small>分)</small> <small>未)</small> <small>未)</small>	血液透析	透析前後の看護 (入院透析の場合)		必要物品・透析前・透 析後・注意事項が言え る		B		S	H

番号	カテゴリー	大項目	小項目	学習 進め の やす	達成基準	評価			学習方略
						B	A	S	
4.4	関連各科 の場所と 連携	書店	患者様に、各病棟及び 健康棟の場所と診療科 の説明が出来る		物品・食事・薬品の受 け取りが出来る		A		入院快適ノ ート/入院案 内/ 外来の案内/ 病棟配布案 内図/K
		キャッシュコーナー					A		
		郵便ポスト					A		
		輸血部					A		
		サプライ					A		
		中央器材室					A		
		栄養課					A		
		薬剤部					A		

評価者から申請者へのワンポイントアドバイス
 苦手と感じながらも押し通し克服し努力できている。
 フィジカルアセスメント研修も受講しているため 今後石研修などで
 知識・技術の研鑽をはかればよいと思われる

評価者から申請者へのワンポイントアドバイス
 最初は、未経験のことも多く、病態についての理解、実践が弱く
 印象があったが、後に、努力により、多くのことを経験した印象
 がある。当病棟では珍しい処置、検査ありは、積極的に
 介入していくことで、更に、知識、技術の範囲を増やしてほしい

評価者から申請者へのワンポイントアドバイス
 未経験項目も増やして経験を増やせるように軌跡がうかぬま可。
 整理のフェイリストについて So 項目を増やせるように、各種マニュアルを再度見直しおまて
 下さい。